

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年11月9日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 有仁
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 篠崎 史朗 (TEL) 03-5822-6170
 四半期報告書提出予定日 2022年11月10日 配当支払開始予定日 2022年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	17,553	11.7	2,852	20.4	3,278	38.9	2,247	38.3
2022年3月期第2四半期	15,710	—	2,369	81.3	2,360	84.7	1,625	87.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第2四半期	283.22		—					
2022年3月期第2四半期	204.79		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	47,788	18,199	38.1
2022年3月期	46,886	16,061	34.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 18,199百万円 2022年3月期 16,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年3月期	—	20.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	5.6	5,150	11.4	5,000	4.3	3,500	1.2	440.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手できる情報に基づき可能な範囲で合理的に算定しております。実際の業績等は今後の世界情勢等により異なる可能性があり、修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	8,143,390株	2022年3月期	8,143,390株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	206,467株	2022年3月期	206,467株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	7,936,923株	2022年3月期2Q	7,937,036株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における世界経済は、コロナ禍からの正常化に向けた動きが見られる一方、中国政府のゼロコロナ政策継続による成長鈍化、ウクライナ情勢の悪化・長期化による資源・エネルギー価格の高止まり、世界的な物価上昇、米国の政策金利引き上げなど、景気後退が懸念される状況にあります。

わが国経済は、入国制限が緩和されるなどコロナ禍からの経済活動正常化が進み、景気に持ち直しの動きがみられましたが、歴史的な円安加速による輸入物資価格の高騰など、先行き不透明な状況が続いております。

電子材料業界は、感染症の拡大に端を発した世界的なロジスティクス混乱も正常化へ向かい、半導体不足は汎用半導体を中心に緩和され、一部では在庫調整局面に入りました。また、先端半導体領域では米中対立が続きましたが、DX加速や投資競争によって需要が拡大しました。

この様な状況のもと、当社は先端半導体の旺盛な需要を背景に増産に注力し、お客様や原材料調達先の協力のもと原燃料・運賃高騰分の販売価格への反映にも努め、当第2四半期における売上高は17,553,605千円（前年同期比+1,843,060千円、+11.7%）となりました。利益面につきましては、原燃料・運賃の高騰、半導体先端領域向け技術開発や生産能力増強などの費用が増加したものの、高付加価値な半導体先端領域向け製品の販売増加や、生産性向上に努めたこともあり、営業利益は2,852,500千円（前年同期比+483,330千円、+20.4%）、経常利益は円安進行による債権の為替差益もあり3,278,938千円（前年同期比+918,744千円、+38.9%）、四半期純利益は2,247,904千円（前年同期比+622,462千円、+38.3%）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(感光性材料事業)

感光性材料関連は、フラットパネルディスプレイの需要が減退しディスプレイ向け感光材の売上は減少したものの、先端領域向け材料はロジック半導体を中心に強い需要が続き、加えて急激な円安進行もあり売上は増加しました。

この結果、同事業の売上高は10,481,232千円（前年同期比+828,693千円、+8.6%）と伸長し、先端半導体領域向けの技術開発や生産能力増強などの費用が増加したものの、それらを吸収し営業利益は1,905,930千円（前年同期比+228,389千円、+13.6%）となりました。

(化成品事業)

電子材料関連製品は、コロナ特需の反動減によるスマートフォンやPCの販売低下に加え、経済の先行き不透明感から来る消費低迷により需要は軟調となりましたが、半導体先端領域の強い需要と拡販、原燃料価格高騰の価格反映が進み、売上は増加しました。

香料材料関連製品は、景気減速の影響により当社製品の主な用途であるトイレタリー向け香料の需要が軟化したことにより、売上は前年同期を下回りました。

ロジスティック関連は、自動車の減産やサプライチェーン上の在庫調整などから、荷動きは減少しているものの、旺盛なタンク需要によりタンク契約率は高水準で推移しました。

この結果、同事業の売上高は7,072,373千円（前年同期比+1,014,366千円、+16.7%）、営業利益は946,569千円（前年同期比+254,940千円、+36.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間における総資産は47,788,384千円となり、前事業年度末比902,330千円の増加となりました。

流動資産は21,007,568千円で、前事業年度末比1,241,209千円の増加となりました。これは受取手形及び売掛金766,998千円の減少、商品及び製品1,533,614千円の増加などによるものであります。

固定資産は26,780,815千円で、前事業年度末比338,879千円の減少となりました。これは主に取得による増加1,152,587千円、減価償却による減少1,374,714千円によるものであります。

流動負債は18,346,578千円で、前事業年度末比959,840千円の減少となりました。これは主に設備関係未払金1,246,001千円の減少、未払法人税等155,572千円の減少によるものであります。

固定負債は11,242,679千円で、前事業年度末比275,286千円の減少となりました。これは主に、長期借入金368,930千円の減少によるものであります。

純資産合計は18,199,126千円で、前事業年度末比2,137,457千円の増加となりました。これは主に四半期純利益2,247,904千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の業績予想につきましては、2022年5月11日に公表いたしました業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日(2022年11月9日)に公表いたしました「2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,681,136	3,732,168
受取手形及び売掛金	7,402,268	6,635,269
商品及び製品	5,747,767	7,281,382
仕掛品	234,220	271,710
原材料及び貯蔵品	2,098,214	2,556,699
その他	610,367	537,122
貸倒引当金	△7,617	△6,785
流動資産合計	19,766,358	21,007,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,785,043	10,724,986
機械装置及び運搬具(純額)	7,529,678	8,363,170
土地	4,912,147	4,912,147
建設仮勘定	1,499,063	449,178
その他(純額)	650,296	640,991
有形固定資産合計	25,376,229	25,090,473
無形固定資産		
その他	511,732	544,928
無形固定資産合計	511,732	544,928
投資その他の資産		
その他	1,231,733	1,145,413
投資その他の資産合計	1,231,733	1,145,413
固定資産合計	27,119,695	26,780,815
資産合計	46,886,053	47,788,384
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,010,809	5,001,205
短期借入金	5,300,000	6,200,000
1年内返済予定の長期借入金	3,445,860	3,331,860
設備関係未払金	2,268,873	1,022,871
未払法人税等	1,117,858	962,286
賞与引当金	724,484	769,544
その他の引当金	52,860	25,380
その他	1,385,672	1,033,431
流動負債合計	19,306,418	18,346,578
固定負債		
長期借入金	9,073,951	8,705,021
退職給付引当金	1,781,428	1,864,279
役員退職慰労引当金	83,317	87,798
その他	579,269	585,580
固定負債合計	11,517,966	11,242,679
負債合計	30,824,385	29,589,257

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	12,938,876	15,067,727
自己株式	△92,145	△92,145
株主資本合計	16,007,209	18,136,060
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	54,458	63,066
評価・換算差額等合計	54,458	63,066
純資産合計	16,061,668	18,199,126
負債純資産合計	46,886,053	47,788,384

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	15,710,545	17,553,605
売上原価	11,577,319	12,597,126
売上総利益	4,133,226	4,956,479
販売費及び一般管理費	1,764,055	2,103,978
営業利益	2,369,170	2,852,500
営業外収益		
受取利息	24	42
受取配当金	3,733	4,509
為替差益	18,756	434,648
受取家賃	15,772	13,811
生命保険配当金	10,210	11,080
その他	11,297	22,293
営業外収益合計	59,795	486,385
営業外費用		
支払利息	63,699	52,954
その他	5,071	6,993
営業外費用合計	68,771	59,947
経常利益	2,360,194	3,278,938
特別利益		
固定資産売却益	6	337
特別利益合計	6	337
特別損失		
固定資産売却損	7	—
固定資産除却損	12,853	36,670
特別損失合計	12,860	36,670
税引前四半期純利益	2,347,340	3,242,605
法人税、住民税及び事業税	729,749	899,933
法人税等調整額	△7,851	94,768
法人税等合計	721,898	994,701
四半期純利益	1,625,441	2,247,904

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,347,340	3,242,605
減価償却費	1,273,707	1,374,714
引当金の増減額(△は減少)	77,703	104,079
受取利息及び受取配当金	△3,758	△4,551
支払利息	63,699	52,954
固定資産除却損	12,853	36,670
有形固定資産売却損益(△は益)	0	△337
売上債権の増減額(△は増加)	407,661	766,998
棚卸資産の増減額(△は増加)	△654,710	△2,029,590
仕入債務の増減額(△は減少)	933,049	△18
未払又は未収消費税等の増減額	618,178	△19,514
その他	△21,024	△240,448
小計	5,054,702	3,283,562
利息及び配当金の受取額	3,758	4,551
利息の支払額	△63,826	△55,448
法人税等の支払額	△515,317	△1,123,901
その他	180	580
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,479,496	2,109,345
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,100,846	△2,326,018
有形固定資産の売却による収入	6	337
有形固定資産の除却による支出	△4,474	△34,282
無形固定資産の取得による支出	△89,640	△36,511
投資有価証券の取得による支出	△110	△152
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,195,064	△2,396,627
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	900,000
長期借入れによる収入	900,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	△1,725,074	△1,782,930
リース債務の返済による支出	△80,733	△82,971
自己株式の取得による支出	△794	—
配当金の支払額	△81,364	△118,913
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,287,965	215,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,598	123,129
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,063	51,031
現金及び現金同等物の期首残高	3,382,440	3,269,136
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,385,504	3,320,168

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	9,652,539	6,058,006	15,710,545	—	15,710,545
外部顧客への売上高	9,652,539	6,058,006	15,710,545	—	15,710,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	140,612	140,612	△140,612	—
計	9,652,539	6,198,618	15,851,157	△140,612	15,710,545
セグメント利益	1,677,541	691,628	2,369,170	—	2,369,170

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	10,481,232	7,072,373	17,553,605	—	17,553,605
外部顧客への売上高	10,481,232	7,072,373	17,553,605	—	17,553,605
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	151,402	151,402	△151,402	—
計	10,481,232	7,223,775	17,705,008	△151,402	17,553,605
セグメント利益	1,905,930	946,569	2,852,500	—	2,852,500

(注) セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。